

## モバイルバッテリー事故増加を受け

### MCPCが事業者の「安全・品質管理の考え方」を可視化する運用を開始

#### — 製品スペックだけでは分からない安全性の背景に着目 —

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)は、2026年4月に公表した「モバイルバッテリー安全性・品質ガイドライン」に基づき、ガイドラインで示した考え方を、業界として初めて、事業者が自らの取組を分かりやすく説明するための共通の枠組みとして、本年6月初旬を目途に実際の取組内容を踏まえた運用フェーズに移行します。

また近年、半固体電池など新技術を採用したモバイルバッテリーの導入も進みつつあります。新しい材料や構造が注目される一方で、安全性は製造や品質管理のあり方にも左右される側面があります。本ガイドラインは、現行品に加え、こうした新技術を用いた製品も視野に入れ、事業者の取組を整理・可視化する共通の枠組みとして運用していきます。(※2026年6月5日:新技術に関する説明を追記)

本取組は、特定の製品の性能や安全性を評価・保証するものではなく、製造工程や品質管理、アフターサービス、使用終了後を含む製品ライフサイクルといった「製品の背景」について、モバイルバッテリー事業者がどのような考え方・体制で安全性・品質確保に取り組んでいるかを整理し自主適合宣言制度として運用するものです

これにより、事業者ごとに異なっていた安全・品質確保の取組が、一定の視点で比較・理解しやすくなります。

#### ●背景

近年、モバイルバッテリーに起因する発火・火災事故が増加する中※1「安全性をどう見極めればよいのか分からない」という声が高まっています。

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)は、製品の外観やスペックだけでは判断しにくい「製造工程」「品質管理」「アフターサービス体制」、「使用終了後を含む製品ライフサイクル」といった【製品の背景】に着目したモバイルバッテリーの安全性・品質適合制度の運用を開始します。

本取組により、事業者ごとの安全・品質確保の考え方や体制が、一定の視点で整理・可視化されることとなります。

## ●今回の運用フェーズで行うこと

本運用フェーズでは、「モバイルバッテリー安全性・品質ガイドライン」に沿って安全性・品質確保に取り組む事業者の取組内容を、MCPC が一定の視点で整理し、分かりやすく可視化します。

その結果として、ガイドラインの視点に基づき一定の確認が取れた場合には、「MCPC 適合マーク」※2 を付与する仕組みとしています。

本マークは、特定の製品の性能や安全性を評価・保証するものではありません。また、製品の優劣を示すものでもありません。

「MCPC 適合マーク」は、モバイルバッテリー事業者が、自らの安全性・品質確保に対する考え方や体制を利用者に説明するための「共通言語」として提供するものであり、事業者が安全性・品質確保への取組姿勢を対外的に説明する際の最低限の前提情報となることを想定しています。

製品スペックや外観だけでは分かりにくい、製造工程、品質管理、アフターサービス体制といった【製品の背景】について、一定の視点で整理し、伝えやすくすることを目的としています。

具体的には、

- ・製造工程やサプライヤー管理など、品質確保に向けた体制
- ・問い合わせ対応や事故発生時の対応体制など、アフターサービスの考え方
- ・使用終了後を含め、製品ライフサイクル全体を見据えた安全性への配慮（回収・廃棄に関する情報提供体制等）

などについて、ガイドラインの視点に基づき確認します。

これらは、個別製品の安全性を評価・保証するものではなく、事業者が安全性・品質確保にどのように取り組んでいるかを整理するための任意の取組です。

## ●本取組の位置づけ

- ・法令に基づく認証や、既存の第三者認証を代替するものではありません。
- ・特定の製品や事業者の優劣を示すものではありません。
- ・規制や監視を目的とした制度ではありません。

## ●今後の予定について

- ・MCPC では、今後も市場動向や事故情報を踏まえながら、本取組の運用状況を検証し、必要に応じて運用方法やガイドライン内容の見直しを行っていく予定です。本取組が、事業者による説明のしやすさや、利用者が製品選択を考える際の一助となることを目指しています。
- ・利用者にとっては、製品スペックや価格に加え、事業者がどのような体制で安全性・品質確保に向き合っているかを考える際の一つの視点となることを目指しています。
- ・本取組については、すでに複数の会員事業者から運用への関心や相談が寄せられており、今後、取組内容の充実を図っていく予定です。

●その他

MCPC では、業界向けにガイドラインの運用を進めると同時に、ユーザーにリスクを分かりやすく伝える啓発ロゴの展開にも取り組んでいます。

●補足資料(本文では制度概要を簡潔にお伝えしていますが、取材・記事化の際の背景整理用として、記者の方向けに補足資料を添付しています。)

・モバイルバッテリーの安全性・品質を考える視点—外観やスペックだけでは分からない「製品の背景」とは— < [https://www.mcpc-jp.org/press/pdf/press\\_20260521\\_perspective.pdf](https://www.mcpc-jp.org/press/pdf/press_20260521_perspective.pdf)>

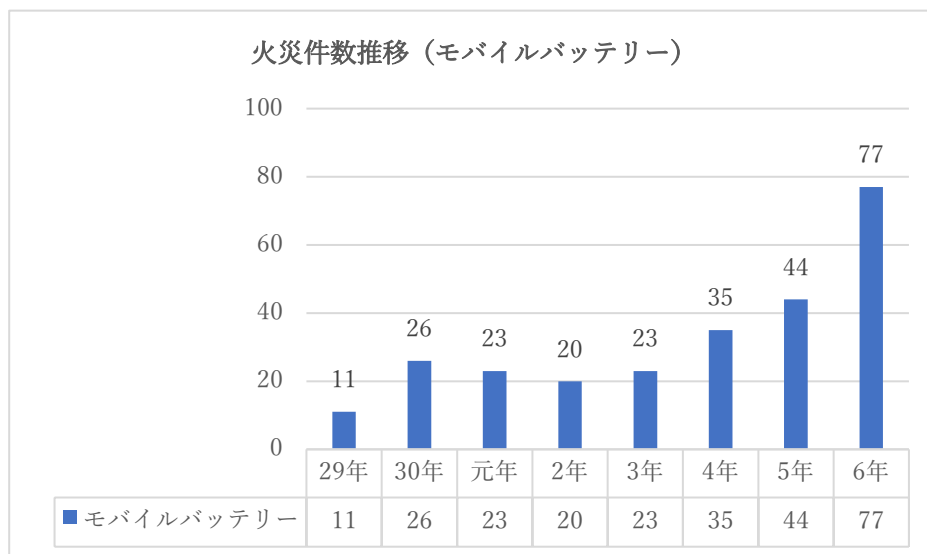
・記者向けイメージ資料 < [https://www.mcpc-jp.org/press/pdf/press\\_20260605\\_image.pdf](https://www.mcpc-jp.org/press/pdf/press_20260605_image.pdf) >

・FAQ(想定 Q&A・記者向け) < [https://www.mcpc-jp.org/press/pdf/press\\_20260521\\_faq.pdf](https://www.mcpc-jp.org/press/pdf/press_20260521_faq.pdf)>

●MCPC は、モバイル充電安全活動の実施にあたり、「経済産業省 産業保安・安全グループ 製品安全課」へ随時相談を行い、事前の情報共有や意見交換を重ねております。こうした取り組みにより、活動の透明性を確保するとともに社会的意義の高い活動を推進してまいります。

※1 出典【東京消防庁】リチウムイオン電池搭載製品の出火危険

< [https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/kasai/lithium\\_bt.html](https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/kasai/lithium_bt.html) >



※2 MCPC 適合マーク(本ロゴは暫定案です。今後変更となる可能性があります。)



【MCPCについて】

MCPC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム 会長:安田 靖彦)は、業界の枠を超えてモバイルコンピューティングを普及促進することを目的とし、1997年に発足した任意業界団体です。スマートフォン等のUSB充電インターフェース安全設計ガイドラインおよび、モバイル機器安全設計ガイドライン、端末インターフェースガイドライン、Bluetooth関連ガイドラインなど多数の標準化作業をはじめ、「IoTシステム技術検定」、「モバイルシステム技術検定」、「ワイヤレスIoTプランナー検定」、「ローカル5G実践研修講座」などを通して、モバイル、IoT/AIの普及拡大に貢献しております。

MCPC加盟企業・団体165社(2026年4月現在) <http://www.mcpc-jp.org>

「本件に対する問合せ先」

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)事務局

所在地:〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 長谷川グリービル2F

電話:03-5401-1935

E-Mail: [office@mcpc-jp.org](mailto:office@mcpc-jp.org)

リリース文 pdf はこちらです。 < [https://www.mcpc-jp.org/press/pdf/press\\_20260521a.pdf](https://www.mcpc-jp.org/press/pdf/press_20260521a.pdf) >

